

外部評価報告書の評価意見から改善が望ましいとされる点に対する対応案

項目	評価意見	対応状況及び対応の方向性
温室効果ガス排出量・エネルギー使用量	電力調達において競争入札を導入している施設では、環境省が示す排出係数の代替値未満の事業者であることを入札参加条件としたことは、電力使用にともなうCO ₂ 排出量の削減を図るうえでこれまでからのさらなる前進として評価できる。しかしながら、契約時では落札事業者の排出係数が代替値未満であったとしても、後に落札事業者の当該年度の排出係数最新値が代替値を上回ってしまう結果となっているケースがみられ、結果的に当初の期待どおりにCO ₂ 排出削減につながっていない状況があるため、契約時点での排出係数に加えて、未利用エネルギーの利用状況、再エネ導入状況等の要素の評価と価格とを総合評価するような仕組みを検討する余地がある。	電力調達に係る環境配慮契約について、複数の評価項目により評価を行う場合に特に課題となる点として、CO ₂ 排出係数の高い事業者の入札参加が可能になるため、結果として現行よりCO ₂ 排出係数が高い事業者が選定されやすくなると見込まれること、逆に、評価基準を厳しくして参加事業者を限定する場合には、競争性が低くなることから、応札額が高くなる可能性が考慮されることなどが挙げられます。そのため、CO ₂ 排出係数を基準とした環境配慮契約の結果を検証し、国の政策や電気事業者の動向を確認・分析した上で、より適切な方法を検討していきます。
グリーン購入（廃棄物・紙資）	廃棄物排出量は施設の建て替え設備の入れ替え等で変化することは致し方ないので、再利用の方法をわずかでも考慮・改善するよう取り組みを期待します。	再利用率向上への意識付けについては、今後職員用掲示物（ハスのんだより）等で全体に周知いたします。
（共通の取り組み）エコオフィス活動	チェックシート上の「低評価の要因・取り組みの課題」の記載において、要因が十分に説明されていない部分がある。今後は、要因分析を含めて、さらなる改善につながる記載がなされるように、各職場に共通認識をもってもらい必要がある。 空調、給湯の適正使用、分別・資源化といった項目の場合、各課で管理がなされているわけではないことから、課単位で取り組みを評価することが妥当なのか疑問である。部もしくはフロア単位で評価する方が合理的ではないか。	要因分析の記載内容等、チェックシートに記入する内容については、引き続き職員集合研修の中で適宜周知を図っていきます（今年度の研修は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止としています）。 フロア単位での評価が妥当と思われる項目の取り扱いについては、次期計画策定時の検討課題とさせていただきます。
管工（エコ）部署の活動（取り組み）	継続的な改善という点で言えば、各部署の取り組みについて、○から×になったところ、あるいは×から○になったところ、などのような変化があったのかが分かると良い。 「昼休み時の照明消灯の実施」、「採光を利用した消灯の実施」は終日市民が利用する施設や教育施設において実施率が低い傾向がみられる。こうした施設においては徹底を図ろうとすること自体、困難もしくは不適切なのではないか。	施設の取組結果に係る前年度からの変化等がわかるような記入様式の改善については、次期計画策定時の検討課題とさせていただきます。 「昼休み時の照明消灯の実施」、「採光を利用した消灯の実施」という項目について、適切な部署のみを実施対象とすることは、次期計画策定時の検討課題としつつ、業務に支障のない範囲での部分消灯を促すなど、柔軟な対応方法を引き続き周知していきます。
内部監査	良好な取り組みがされていると感ぜられるが、法令遵守の問題など一部に課題があり、早急に改善する仕組みがほしい。 不適合となった3件のうち2件は、廃掃法で義務づけられているマニフェスト交付状況報告を怠っていたという法令違反の事案であり、担当者の認識不足では本来済まされない問題である。これら事案は氷山の一角であるかもしれないが、他にも同様の違反が放置されていないか、改めて全庁的に確認すべきだと思われる。 廃掃法違反事案が発見されたことは、内部環境監査がしっかりと機能していることを示した反面、同法以外の環境関連法令の遵守状況に不安を抱かせる結果となっている。部署や施設ごとに適用法令は異なってくることから、今後は部署や施設の活動に応じた環境法令リストを部署や施設ごとに整備していく必要があるのではないかと。	2019年度に運用を開始した「環境法令遵守状況確認」の取り組みは、内部監査のように対象を限定した取り組みではなく、全庁を対象としています。2019年度は実施初年度という事もあり、上半期調査時には80件という不適合案件が報告されました。今後も引き続き調査を継続しながら、適切な対応について周知していきます。